

平成23年度から、小学校の新学習指導要領が全面実施となります。新学習指導要領では、小学校5年生および6年生の教育課程の中に、外国語活動(英語)が新設されることになっていきます。

菊陽町教育委員会では、新学習指導要領の全面実施に備えて、平成21年度から総合的な学習の時間の一部を外国語活動(英語)のための時間として位置づけ、九州ルーテル学院大学と連携を図りながら準備を進めてきました。

平成21年度に一定の成果を上げることができたことから、平成22年度も連携協力の体制を維持するとともに更なる充実発展を目指すため、同大学と小学校外国語活動に関する連携協力のための協定を締結することになりました。

6月30日に、後藤町長立ち会いのもと、菊陽町教育委員会と九州ルーテル学院大学との間で、連携協力に関する協定書への調印式が行われました。

なお、連携事項は次のとおりです。
①教職員の資質・能力の向上に関する事。

②大学の学生などによる学校教育活動への支援に関する事。

③大学の教員などによる町立学校の児童に対する講座に関する事。

④教育上の諸課題に対応した調査・研究などに関する事。

⑤その他双方が必要と認められる事項に関する事。



▲協定書調印式。外国語教育の充実を目指す

☎ 232-4918

学務課

問い合わせ

町では、毎年中学生海外派遣事業により、オーストラリアのバッカスマーシユグラマー校との国際交流を行っています。

昨年は、新型インフルエンザの影響でやむなく本事業を中止しましたが、今年度は7月25日から2週間12人の中学生を派遣し、9月中旬ごろに相手校から生徒と先生をお迎えすることに、本町中学生との国際交流事業を行います。それに伴い、ホストファミリーとしてご協力いただけるご家庭を募集しています。



▲平成20年度の国際交流事業

■滞在予定期間

9月中旬から10日程度

■募集世帯数

町内で中学生もしくは高校生がいる世帯の中から15世帯程度。

■受入条件など

- ①洋式トイレがあること。
- ②シャワー設備があること。
- ③ホストファミリーとして、受入生徒の観光案内など責任をもって対応できること。

■申込方法

受入条件などをご確認のうえ「オーストラリア・バッカスマーシユグラマー校生徒ホームステイ受入事業申込書」により、8月20日(金)までにお申し込みください。

■留意事項

- ①必要数を超える申し込みがあった場合は、受入条件などを考慮したうえで抽選により決定します。
 - ②受入家庭の選定結果は、決定次第連絡します。
- なお、受入家庭は打ち合わせ会議を9月上旬に行います。

☎ 232-4918

学務課

問い合わせ



Thank you everyone.
I will never forget you.

from Katherine

Two years go by so fast.

When I arrived in Kikuyo back in August of 2008, I had no idea what to expect. What would my schools be like? Would I be able to get by with my limited Japanese? Could I inspire the children to want to learn English?

My first memories of this town are of the heat and the sound of cicadas. This is followed quickly by the kindness of the Board of Education, the Town Office and the citizens themselves of Kikuyo. In my time here I have visited kindergartens and elementary schools, taught adults conversational English and spent most of my time at Musashigaoka Junior High School. I have travelled with my students and learnt about Japanese history. I have played tag until I couldn't breathe. I have scared other classes with the noisiness of English games. I have been so proud watching my students give their best at the English recitation contests. Every school that I have gone to has shown such an enthusiasm for learning and teaching that it has taken my breath away and pushed me to be better.

Kikuyo town has given me so many memories. From biking around San San Park to shopping at Youme Town, the view of Mt. Aso in the distance and the smiling faces of the students at Sports Day, there is so much beauty, happiness, fun and warmth of heart here that I am so sorry to have to leave behind.

On August 11th I will return to Vancouver, Canada to continue my career as a librarian. Everything I experienced here has helped me grow and I will take it all with me as I move on to the next stage of my life.

Thank you everyone. I will never forget you.

Katherine.

あっという間の2年間

2008年8月に菊陽に到着したときには、これらいったいどんなことが起こるのか、まったくわかりませんでした。私の受け持つ学校はどこだろう?自分の限られた日本語でうまくやっていけるだろうか?英語を学びたいと思っている子どもたちにうまく教えることができるだろうか?

菊陽町の最初の印象は、暑さとセミの声でした。これはすぐに教育委員会、役場の皆さん、菊陽町の皆さんの温かさにとって代わりました。ここ菊陽で私は保育園や小学校を訪問したり、英会話教室で教えたりしました。中でも武蔵ヶ丘中学校で多くの時を過ごしました。生徒たちと一緒に修学旅行へ行き、日本の歴史について学びました。保育園では息が切れるまで鬼ごっこをしました。英語ゲームをしたときには、あまりの騒がしさに他のクラスをびっくりさせたこともありました。また自分の生徒たちが、英語暗唱大会でベストを尽くす姿を見られたことはとても誇らしかったです。私が訪問したどの学校でも、子どもたちの学ぼうとする姿勢と先生方の指導には、ハッとさせられるような、そして私を向上させてくれるような熱意を感じられました。

菊陽町は私にたくさんの思い出を与えてくれました。さんさん公園周辺でのサイクリング、ゆめタウンでのショッピング、遠くの阿蘇山の眺め、体育大会での子どもたちの笑顔・・・などなど、ここにはこのような美しさ、幸せ、楽しさと心の温かさが満ちていて、それを後に残していかなければならないことを、とても残念に思います。

8月11日、私はカナダのバンクーバーに戻り、再び図書館司書としての仕事を続けます。この町で経験したことのすべてが私を成長させてくれ、私の人生を次のステップへと導く大きな糧となるでしょう。

皆さん、本当にありがとうございました。

皆さんのことは決して忘れません。

キャサリン